

## 観察時には注意しましょう(今後の参考に)

### ◆服装

海辺には多くの生物が住んでいます、その中には小さくても毒をもっていたり、鋭いトゲや殻を持っているものがあります。ケガをしない為に服装にも注意しましょう。

※ぼうし:海辺の日差しは非常に強いので、真夏でなくても帽子をかぶりましょう。

※軍手:毒のある生物や、鋭いトゲを持つ生物にさわってケガをしないように持って行きましょう。

※靴下と運動靴:はだしで歩き回ると必ずケガをします。靴下と水の中に入ってもいい運動靴を用意しましょう。海草の生えた濡れた岩の上は特によく滑るので十分に注意しましょう。

### ◆海辺の自然は複雑です。

岩の上を飛んだり、走ることは大変危険なのでやめましょう。また、まわりにも注意して観察しましょう。

### ◆目的を持って観察しましょう。

今日は、何をするのか目的を持って観察しましょう。また、当日の満潮・潮の時刻を調べる、必要なものは何かなどあらかじめ計画を立てておきましょう。

### ◆無理なことはしない。

波が高い、風が強いときなど天気の良いときや、体の調子が良くないときなどは観察をやめましょう。また、手が届かない場所にあるものや、危険な場所にあるものなどの観察はやめましょう。

### ◆持って行くと便利なもの。

- ※筆記用具、ノート、鉛筆(水がつくのでボールペン、万年筆はダメ)
- ※ルーペ(虫眼鏡):小さな生物を観察するときに使います。5~10倍くらいのもので使いやすいです。
- ※図鑑:ポケットに入るくらいの大きさの図鑑があれば、その場で名前が分かって便利です。
- ※薬、救急ばんそうこう等
- ※ビニール袋:採集が必要なおきなどに使います。

★生物の生活環境を壊さないようにしましょう。

★無駄な採集はやめましょう。

★ゴミは捨てないで、持ち帰りましょう。

加太観光協会 ☎073-459-0003 和歌山市加太1067 <http://www.kada.jp>

夏休みの宿題・自由研究もバッチリ!?

# 家族でWAIWAI

## 磯遊び



海辺にはたくさんの生物が住んでいます。私たちが気軽に出かけることの出来る場所の中では、おそらく一番多くの種類の生物が集まって住んでいる場所でしょう。魚釣りや、海水浴に出かけたときにも、少し注意して調べてみると驚くほど多くの生物に出会う事が出来ますよ。

加太観光協会

# 加太の磯で観察生物たち



【イソシエビ】

浅い潮だまりにいて、とてもすばしっこく泳ぎます。体が透き通っていて見つけにくいけどたくさんいます。



【ダイダイイソカイメン】

これで動物だなんてちょっと信じられないような形です。浅い潮だまりにいて、たくさんの小さな体が集まってこんな姿になっています。



【イソガニ】

浅い潮だまりにいて石の隙間に隠れています。甲羅の模様は色々で、おなかをよく見てみるとオスとメスのちがいが分かります。はさみは全然怖くないですよ。



【フナムシ】

海岸沿いを歩いていると波の来ないような所をのろのろと走り回っています。土の中にいるダンゴムシの仲間です。



【カメノテ】

潮が引いたら水が無くなるような岩の隙間にくっついていて、潮が満ちてくると貝の隙間から足を出して餌を集めます。亀の手のような形をしているのでカメノテです。



【ヨロイソギンチャク】

サンゴ礁の仲間です。浅い潮だまりの岩の隙間によくいます。触手の真ん中に口があって色々なものを食べます。ゆっくり移動することも出来ますよ。



【ヤドカリ】

体が柔らかいので危険から身を守る為に死んだ貝の殻をすみかに使っています。貝の中に隠れる時はハサミでふたをします。浅い潮だまりにいっぱいいます。



【アメフラシ】

こう見えても巻き貝の仲間です。背中に指をつこんでみると小さな貝殻があります。角の付け根を見てみると小さな目があって、潮だまりの下の方で海藻を食べています。



【ウミウシ】

貝殻は無いけど巻き貝の仲間です。きれいな色をしているものが多く普段は深い潮だまりにいます。体の後ろにエラがあってここで呼吸をしています。2本の角が牛みたいに見えますね。



【マツバガイ】

潮が満ちてきたら動き回って海藻をよく食べます。潮が引くと岩にへばりついてはがそうとしても素手でとても無理です。



【ヒサラガイ】

貝殻が8枚もある貝で大昔からずっと変わらない生きた化石です。上の方の岩の隙間にくっついてなかなかはがせず、はがしたらダンゴムシみたいに丸くなります。



【サザエ】

壺焼きとかでおしく食べられるサザエ。貝殻もふたもぐるぐるで上から見てみると右に巻き付いています。結構深いところにいるのでなかなか見つけにくいです。



【ムラサキウシ】

潮だまりの石の裏なんかによくいます。たくさんのトゲの隙間からたくさんの足を出してくっついてます。みんなが食べているウニは体内の卵の部分です。



【ヒトデ】

特徴のある形のヒトデ、色々な種類がありますが普通は腕が5本で、裏返してみると数え切れないほどのたくさんの足があって歩くのも結構速い。深いところの潮だまりにいます。

## 加太の磯の生物たち

満潮

潮間帯

干潮

石の上  
ヒサラガイ  
カメノテ  
イワフジツボ  
カラマツガイ

潮上帯  
フナムシ  
アラレタマキビ  
タマキビ

転石

アメフラシ  
スガイ  
イシダタミ  
クボガイ  
ヨシダカガンガラ

ホンヤドカリ  
イソヨコバサミ  
イシカニダマシ  
ヒライソガニ  
イソガニ

オウギガニ  
アマガイ  
アマオブネ  
ウズマキゴカイ  
オカダウミウシ

タイトフル

アメフラシ  
アマクサアメフラシ  
ダイダイイソカイメン  
クロイソカイメン  
シワホラダマシ

カイウミヒドラ  
ヨロイソギンチャク  
ヒメネジガイ  
マメグルミガイ  
ウスヒラムシ

ムラサキウシ  
クモヒトデ  
ヤツデヒトデ  
ヨコエビの仲間  
アゴハゼ

ミズハゼ  
シマハゼ  
ナベカ  
ギンボ  
ミスヒキゴカイ

側面  
ヤッコカンザシゴカイ  
セミアサリ  
チリハギガイ  
チゴケムシ

潮下帯

ハオコゼ アカクラゲ  
ゴンズイ テナガダコ  
アイ アカフジツボ

豊かな加太の海では、この他にもたくさんの生き物が生活しています。今回の観察会で何種類の生き物と出会うことが出来るか数えてみよう。

